



ふじのくに 生物多様性地域戦略

「生物多様性」という言葉を知っていますか？

この地球で生物が暮らしていくためには、重要な考え方です！

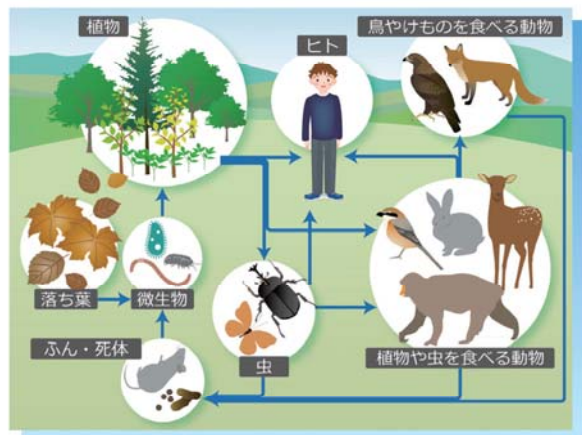
詳しくは、このちらし又は県ホームページをご覧ください、みんなで今、何ができるのか一緒に考えましょう。



静岡県イメージキャラクター
「ふじっぴー」©静岡県

生物多様性とは？ ～豊かな自然に守られている私たちの暮らし～

- 多くの種類の生物がいて、それらが様々な形でつながりあっていることを「生物多様性」といいます。
- 私たち人類は、食料や水の供給、気候の安定など、「生物多様性」を基盤とする生態系から得られるめぐみによって支えられています。



生物多様性の3つの視点

- ▶生物多様性とは、単に生物の種類が多だけでなく、「遺伝子の多様性」「種の多様性」「生態系の多様性」という3つの視点でとらえることができます。

遺伝子の多様性

同じ種でも、形や模様等に多様な個性があることをいいます。

例えばアサリなどの模様は様々ですが、これらは同じ種の遺伝子の多様性によるものです。



種の多様性

植物や動物、菌類等の様々な種が生息・生育していることをいいます。



生態系の多様性

森林や草地、河川、海岸等いろいろなタイプの自然環境があることをいいます。



生物多様性に迫る4つの危機

～地球規模で絶滅の危機に直面しています～

1 開発等人の活動による危機

開発等で生物の生息・生育環境が破壊されることにより、生物の個体数の減少につながっています。



キンラン 準絶滅危惧

2 自然環境に対する働きかけの縮小による危機

雑木林や草地在り利用されなくなったことで生態系のバランスが崩れ、里地里山の生物が絶滅の危機に瀕（ひん）しています。



オオウラギンヒョウモン 絶滅

3 人により持ち込まれたものによる危機

外来生物の侵入により、在来生物の生息・生育場所が奪われたり、捕食されたり、交雑による遺伝的な攪乱等が生じます。



ブルーギル 特定外来生物

4 地球環境の変化による危機

地球温暖化によって分布地域のほか、植物の開花・結実時期、昆虫の発生時期等に変化が生じると考えられています。

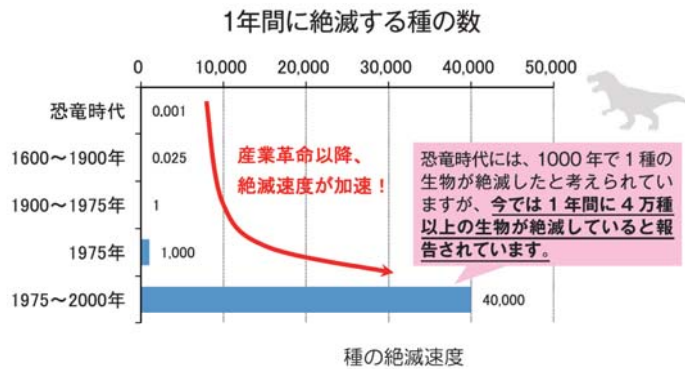


ライチョウ 絶滅危惧II類

生物の絶滅速度の加速

産業革命以降、世界的規模で人の活動が発展するのに伴い、現在はその絶滅速度がさらに加速しています。

国際自然保護連合 (IUCN) では、絶滅のおそれのある種をレッドリストとして公表しています。2017年(平成29年)2月に公表されたレッドリストによると、哺乳類の2割、鳥類の1割、両生類の3割が絶滅の危機にあるとされています。



【資料：沈みゆく箱舟（ノーマン・マイヤーズ著、1981年）】

ふじのくに生物多様性地域戦略の目標

～豊かな自然を次の世代へ～

わたしたちの県土は、先人たちが自然と共生した生活を営む中で、大切に守られてきた“生物多様性のめぐみ”にあふれる場所です。

このめぐまれた県土を次世代へと継承していくために、生物多様性について県民みんなで理解し、行動していくことが必要です。

「ふじのくに生物多様性地域戦略」は、生物多様性の保全と持続可能な利用に向け、県が県民や事業者等多様な人たちと協働して取り組む方向を示しており、生物多様性にめぐまれた本県全域を対象とした行動の指針として提示するものです。

100年後、1000年後においても、“ふじのくに”で自然と人が共生していけるように、今わたしたちにできることから行動を始めましょう！



ふじのくに生物多様性地域戦略 [2018-2027]

静岡県暮らし・環境部環境局自然保護課

〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-2719 FAX 054-221-3278

戦略の本編等については、

静岡県 生物多様性

で 検索

